

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回清須市行政改革推進委員会（書面会議）
開催日時（期間）	令和4年10月31日（月）～11月15日（火）（意見提出期間）
開催場所	—
議題	1 第1回委員会における主な意見に対する市の考え方について 2 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）の中間見直しに係る方針について
会議資料	資料1 第1回行政改革推進委員会における主な意見と意見に対する考え方 資料2 令和4年度行政評価（令和3年度対象）シート（修正後） 資料3 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）の中間見直しについて 別紙1 中間見直しの方針決定に係る資料 別紙2 中間見直し後のプランの構成 別紙3 取組シートの改訂案
公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）	—
傍聴人の数	—
出席委員	野田委員（会長）、齊藤委員、石嶋委員、大西委員、永井委員、山田委員、高山委員、西川委員、上田委員
欠席委員	なし
出席者（市）	—
事務局	（企画部企画政策課） 林課長、杉原課長補佐、神野係長、西田主査、深瀬主事
<p>1 議事1 第1回委員会における主な意見に対する市の考え方について 7月に開催した第1回行政改革推進委員会においては、令和4年度行政評価（令和3年度対象）に係る外部評価として、評価の妥当性・客観性の確保を主眼に、ご意見等の聴取を行ったところです。 第2回委員会では、第1回委員会にて聴取したご意見に対する市の今後の考え方について、書面により意見聴取を行いました。</p> <p>2 議事2 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）の中間見直しに係る方針について 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）においては、取組の進捗や市の状況、社会経済情勢などを踏まえ、令和4年度に中間見直しを実施します。 第2回委員会では、中間見直しの方針に対する意見聴取を行いました。</p>	

3 回答結果（会長を除く委員8名）

(1) 議事1 第1回委員会における主な意見に対する市の考え方について

ア 意見あり 2名

イ 意見なし 6名

(2) 議事2 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）の中間見直しに係る方針について

ア 意見あり 6名

イ 意見なし 2名

4 提出意見

別紙「行政改革推進委員会（第2回）における意見」のとおり

問い合わせ先

企画政策課

電話 052-400-2911（内線3250）

令和4年度行政改革推進委員会（第2回）における意見

1 第1回行政改革推進委員会関係

(1) 施策103 防犯・交通安全対策の推進

- ① 街路灯の新設が増えることを願います。日が暮れるのが早くなると、子どもが習い事から帰る時、真っ暗で怖いとよく言われます。防犯の為にも必要性を感じています。古くなった支柱の撤去も大事なことだと思うので、安全なまちづくりを引き続きお願いいたします。

(2) 施策303 高齢者福祉の充実

意見無し

(3) 施策501 観光の振興

- ② 観光の振興においてトライアルとリピート、どちらに課題があると思われるか。現状の取組が誰をターゲットとしてトライアルもしくはリピート、どちらを狙っているのかが見えなく、打ち手が目標達成に繋がっているのかが見えてこないと感じている。

2 清須市行財政改革推進プラン（清須市第4次行政改革大綱）の中間見直し関係

(1) 方針全体

- ③ 2020（令和2）年度から2022（令和4）年度にかけての取り組みについて、どのように評価しているかが見えていないので、改訂を行わない根拠がわからない。「一定の成果を見える化して、方針に則って実行した結果、狙い通りの成果が出ているため、改訂は行わず改革を進めていく」とすべきではないか。

※ 改訂すべき、という意見ではございません。改訂しない根拠とそれに基づく市役所としての意思を示して欲しい、ということです。

- ④ 市民サービスの向上、業務の効率化には、本当に大変な努力とパワーが必要だと思います。ただ、市民の目から考えると、身近でより簡単に問合せ、申請できることは、とても大切なことだと思います。改めて取組の幅広さに感謝します。
- ⑤ 中間見直しに対して残り期間での確実な計画推進をお願いします。

(2) 別紙1 中間見直しの方針決定に係る資料

- ⑥ アの取組実績はそもそも狙い通りに実行できたのかどうか、がみえていない。財政効果額も予算通りなのかを示して欲しい。
- ⑦ 今後、ますます少子高齢化がすすむ予測の中、ユニバーサルで活用していけるデジタル・トランス・フォーメーション（DX）の普及は欠かせない。情報が積極的に受信することの難しくなる世代へのアプローチが上手くいけるようになると良いと考えます。

- ⑧ 「情報システムの標準化」を25番目の取組項目として加えるということですが、すでに取組14において「情報システムのクラウド化」の項目があり、その「1 現状と課題」の一番目の記載に「標準化を進め」との文言が含まれています。また、いずれも市単体で行うものではなく、これら各項目には重複する要素が多分に含まれます。総務省の「自治体DX推進計画」においても、クラウド化は独立した項目ではなく、P10からの「自治体の情報システムの標準化・共通化」の項目に主として含まれた記載になっています。「情報システムの標準化」を独立した取組項目にするのではなく、「情報システムのクラウド化」の項目を大幅に見直すほうが妥当かと考えますが、いかがでしょうか。

(3) 別紙2 中間見直し後のプランの構成
意見無し

(4) 別紙3 取組シートの改訂案

- ⑨ 個別の案件（特に効率化目標の場合）に対して効果額（投入額に対して削減額、又は見込み額など）の掲載困難なのでしょうか。課題認識と施策や工程はわかりますが、期待される効果面が分かりにくいと思います。

(5) その他

- ⑩ 2020（令和2）年度にプランを立て、実際にRPAやAI-OCRを導入できていることは大きな成果ではないかと考えるので、その成果を振り返って、次にどんなことに取り組むのか、という具体的な取り組みが明確になると、ありがたい姿実現につながっていると感じられる、やりがいのある取り組みになるのではと考える。

※ 以下、「別紙3 取組シートの改訂案」に記載された取組内容等へのご意見

- ⑪ 取り組みの工程、2023（令和5）年度の適切な運用、継続実施とはどういうことかが見えない。何をやるのか、明確にすべきでは。
- ⑫ 「1 現状と課題」の最後のところで「しかし・・・活用できる職員が限られており」と記載があるにもかかわらず、見直し前に記載されていた「人材育成やシステム周知」への取組の必要性が削除されています。「2 取組内容」にも「操作研修会や説明会を実施します」とあるので、「1 現状と課題」のところの記載も残しておいたほうがよいのではないのでしょうか。
- ⑬ 取組が進行中で、導入にあたっては膨大に覚える又は作業があると思いますが、活用できるようになることで更なる効率化で、手間、作業の減少と検証できていくことは大変だと思いますが、よろしく願いいたします。
- ⑭ 保育園、幼稚園、小中学校に提出する書類等のデジタル化にも期待しています。